



## 平成27年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年10月30日

上場取引所 東

上場会社名 エステー株式会社

コード番号 4951 URL <http://www.st-c.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表執行役社長

(氏名) 鈴木 貴子

問合せ先責任者 (役職名) 執行役

(氏名) 吉澤 浩一

四半期報告書提出予定日 平成26年11月14日

配当支払開始予定日

TEL 03-3367-6314

平成26年12月5日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家、アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成27年3月期第2四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第2四半期	22,981	4.6	1,350	0.2	1,152	△10.1	751	△9.7
26年3月期第2四半期	21,960	△4.0	1,348	△16.7	1,281	△9.5	831	△1.3

(注)包括利益 27年3月期第2四半期 960百万円 (△0.8%) 26年3月期第2四半期 967百万円 (9.1%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第2四半期	34.37	34.36
26年3月期第2四半期	38.29	38.29

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
27年3月期第2四半期	33,438	21,838	63.6	972.91
26年3月期	32,370	21,086	63.2	936.06

(参考)自己資本 27年3月期第2四半期 21,260百万円 26年3月期 20,455百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	11.00	—	11.00	22.00
27年3月期	—	11.00	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	11.00	22.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	48,000	2.1	1,900	△10.8	1,300	△13.1	850	△31.1	38.90

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 (1)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 (2)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

27年3月期2Q	23,000,000 株	26年3月期	23,000,000 株
27年3月期2Q	1,147,673 株	26年3月期	1,147,428 株
27年3月期2Q	21,852,498 株	26年3月期2Q	21,715,793 株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
(3) 追加情報	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の経済・金融政策の推進により、雇用情勢の改善など、緩やかな景気の回復基調が続いておりますが、消費税率引き上げに伴う駆け込み需要の反動や夏場の天候不順の影響などにより、個人消費の持ち直しの弱さがみられました。また、世界経済は緩やかに回復基調にあるものの、中国やその他新興国経済の先行きなど依然として不透明な状態が続いております。

こうした状況の中、当社グループは「3G (Growth・Global・Group) の実現」をテーマに掲げ、①顧客の創造、②高収益体制の確立、③組織活性化に取り組んでまいりました。また、経営改革活動STR (エステー・リフォーメーション) の全社展開も継続して進めてまいりました。

その結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は229億81百万円（前年同期比4.6%増）となりました。利益面では、円安による原料価格の上昇や、効果的なマーケティング費用の投下を行う一方で、引き続き製造コストや販売費及び一般管理費の削減に努めたことにより、営業利益13億50百万円（同0.2%増）となりました。しかしながら、持分法適用会社の減少や一部関連会社の業績が低迷したことにより、経常利益11億52百万円（同10.1%減）、四半期純利益7億51百万円（同9.7%減）となりました。

セグメント別の業績は以下のとおりであります。

『防虫・衛生関連事業』の売上高は、87億24百万円（前年同期比8.9%増）となりました。

衣類ケア（防虫剤）部門は、消費税率引き上げに伴う駆け込み需要の反動減や天候不順等による影響もありましたが、「かおりムシューダ」を中心に売上が伸長したことにより、売上高は58億42百万円（同7.4%増）となりました。

ハンドケア（手袋）部門は、業務用のニトリルゴム手袋や海外市場での売上が伸長したことにより、売上高は20億82百万円（同23.2%増）となりました。

サーモケア（カイロ）部門は、前シーズン終了後の返品は減少しましたが、今シーズンの立ち上がりが遅延したことにより、売上高は7億99百万円（同9.2%減）となりました。

『家庭環境関連事業』の売上高は、142億57百万円（前年同期比2.2%増）となりました。

エアケア（消臭芳香剤）部門は、消臭カブランドの新製品を中心に売上貢献しましたが、既存品においては消費税率引き上げに伴う駆け込み需要の反動による影響をカバーできず、売上高は104億3百万円（同1.5%減）となりました。

湿気ケア（除湿剤）部門は、タンクタイプの「ドライペットスキット」や「ドライペットシートタイプ」等の売上が伸長したことにより、売上高は18億40百万円（同21.3%増）となりました。

ホームケア（その他）部門は、空気浄化剤「クリアフォレスト」や「米唐番」等の売上が伸長したことにより、売上高は20億12百万円（同7.4%増）となりました。

各カテゴリー別の売上高は以下のとおりであります。

カテゴリー	売上高	前年同期比
衣類ケア（防虫剤）	5,842百万円	7.4%増
ハンドケア（手袋）	2,082百万円	23.2%増
サーモケア（カイロ）	799百万円	9.2%減
エアケア（消臭芳香剤）	10,403百万円	1.5%減
湿気ケア（除湿剤）	1,840百万円	21.3%増
ホームケア（その他）	2,012百万円	7.4%増

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末と比較して10億67百万円増加し、334億38百万円となりました。主な要因は、現金及び預金の減少6億99百万円、受取手形及び売掛金の増加18億51百万円、商品及び製品の増加3億89百万円等であります。

負債は、前連結会計年度末と比較して3億15百万円増加し、115億99百万円となりました。主な要因は、支払手形及び買掛金の増加10億86百万円、電子記録債務の減少7億46百万円等であります。

純資産は、前連結会計年度末と比較して7億51百万円増加し、218億38百万円となりました。主な要因は、利益剰余金の増加6億9百万円、その他有価証券評価差額金の増加2億円等であります。

以上の結果、自己資本は212億60百万円、自己資本比率は前連結会計年度末と比較して0.4ポイント増加し、63.6%となりました。

（連結キャッシュ・フローの状況）

当第2四半期連結会計期間末の現金及び現金同等物（以下「資金」という）の残高は、前連結会計年度末と比較して6億99百万円減少し、60億28百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

① 営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動の結果使用した資金は1億40百万円（前年同期は5億26百万円の使用）となりました。収入の主な内訳は、税金等調整前四半期純利益11億71百万円、減価償却費3億74百万円、仕入債務の増加額3億50百万円であり、支出の主な内訳は、売上債権の増加額18億66百万円、たな卸資産の増加額5億49百万円であります。

② 投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動の結果使用した資金は2億51百万円（前年同期は4億49百万円の使用）となりました。主な支出としては有形固定資産の取得による支出2億38百万円であります。

③ 財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動の結果使用した資金は3億27百万円（前年同期は2億14百万円の使用）となりました。これは、主に配当金の支払2億40百万円によるものであります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成26年4月30日の決算短信で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

（1）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

記載すべき重要な事項はありません。

（2）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

（退職給付に関する会計基準等の適用）

「退職給付に関する会計基準」（企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。）及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第25号 平成24年5月17日。以下「退職給付適用指針」という。）を、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて第1四半期連結会計期間より適用し、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直し、退職給付見込額の期間帰属方法を期間定額基準から給付算定式基準へ変更するとともに、割引率の決定方法を割引率決定の基礎となる債券の期間について従業員の平均残存勤務期間に近似した年数を基礎に決定する方法から退職給付の支払見込期間及び支払見込期間ごとの金額を反映した単一の加重平均割引率を使用する方法へ変更しております。

退職給付会計基準等の適用については、退職給付会計基準第37項に定める経過的な取扱いに従って、当第2四半期連結累計期間の期首において、退職給付債務及び勤務費用の計算方法の変更に伴う影響額を利益剰余金に加減しております。

この結果、当第2四半期連結累計期間の期首の退職給付に係る負債が1億43百万円減少し、利益剰余金が93百万円増加しております。また、当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

(3) 追加情報

当社は、平成26年9月1日開催の取締役会において、平成26年12月1日を効力発生日として、当社の100%連結子会社であるエステーオート株式会社を吸収合併することを決議し、同日付で合併契約を締結いたしました。

1. 取引の概要

(1) 結合当事企業の名称及び当該事業の内容

① 結合企業

名称 エステー株式会社（当社）

事業の内容 防虫・衛生関連用品並びに家庭環境関連用品の製造、販売

② 被結合企業

名称 エステーオート株式会社

事業の内容 自動車用品等販売

(2) 企業結合日

平成26年12月1日（予定）

(3) 企業結合の法的形式

エステー株式会社を存続会社、エステーオート株式会社を消滅会社とする吸収合併

(4) 結合後企業の名称

エステー株式会社

(5) その他取引の目的を含む取引の概要

商品開発のスピードアップ、マーケティング・販売戦略の強化、当社の販売ルート・営業力を活用した売場の多面展開を推進し、カーケア用品事業の強化を図ることを目的として、本合併を行うものであります。

2. 実施する会計処理の概要

「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 平成20年12月26日公表分）及び「企業結合会計基準及び事業分離等会計基準に関する適用指針」（企業会計基準適用指針第10号 平成20年12月26日公表分）に基づき、共通支配下の取引として処理を行います。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	6,765,456	6,065,850
受取手形及び売掛金	5,150,447	7,002,039
商品及び製品	5,086,253	5,475,931
仕掛品	218,756	301,493
原材料及び貯蔵品	648,454	772,872
繰延税金資産	385,591	324,686
その他	717,419	562,943
貸倒引当金	△16,343	△7,061
流動資産合計	18,956,037	20,498,756
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,771,859	2,709,945
機械装置及び運搬具（純額）	944,607	928,101
工具、器具及び備品（純額）	218,974	239,132
土地	3,289,075	3,284,927
リース資産（純額）	316,183	427,368
建設仮勘定	13,993	60,070
有形固定資産合計	7,554,693	7,649,545
無形固定資産	192,486	193,067
投資その他の資産		
投資有価証券	3,758,946	3,836,336
長期貸付金	38,482	34,380
繰延税金資産	411,527	247,692
その他	1,458,323	978,325
投資その他の資産合計	5,667,278	5,096,734
固定資産合計	13,414,459	12,939,347
資産合計	32,370,496	33,438,104

（単位：千円）

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,050,254	3,136,760
電子記録債務	3,384,248	2,637,359
短期借入金	38,400	37,440
リース債務	75,365	98,033
未払金	2,316,046	2,334,259
未払費用	590,480	535,848
未払法人税等	195,635	255,154
未払消費税等	87,824	143,474
返品調整引当金	116,900	111,500
営業外電子記録債務	43,168	51,213
その他	67,266	56,587
流動負債合計	8,965,590	9,397,632
固定負債		
リース債務	275,363	371,452
再評価に係る繰延税金負債	321,237	321,237
役員退職慰労引当金	155,933	112,266
退職給付に係る負債	1,564,610	1,396,081
その他	1,229	1,045
固定負債合計	2,318,375	2,202,084
負債合計	11,283,965	11,599,717
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	7,065,500	7,065,500
資本剰余金	7,067,815	7,067,815
利益剰余金	8,837,204	9,446,528
自己株式	△1,651,688	△1,651,934
株主資本合計	21,318,831	21,927,908
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	145,181	346,009
土地再評価差額金	△524,169	△524,169
為替換算調整勘定	△335,387	△357,988
退職給付に係る調整累計額	△149,183	△131,345
その他の包括利益累計額合計	△863,559	△667,493
新株予約権	95,085	75,347
少数株主持分	536,174	502,623
純資産合計	21,086,530	21,838,386
負債純資産合計	32,370,496	33,438,104



（2）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

（四半期連結損益計算書）

（第2四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第2四半期連結累計期間 （自平成25年4月1日 至平成25年9月30日）	当第2四半期連結累計期間 （自平成26年4月1日 至平成26年9月30日）
売上高	21,960,731	22,981,545
売上原価	11,726,461	12,368,061
売上総利益	10,234,270	10,613,483
返品調整引当金戻入差額	4,400	5,400
差引売上総利益	10,238,670	10,618,883
販売費及び一般管理費	8,890,184	9,268,106
営業利益	1,348,485	1,350,777
営業外収益		
受取利息	5,237	5,065
受取配当金	20,410	45,615
仕入割引	90,720	94,560
持分法による投資利益	175,325	—
受取手数料	1,877	1,872
その他	52,556	78,409
営業外収益合計	346,127	225,522
営業外費用		
支払利息	659	547
売上割引	364,571	378,726
持分法による投資損失	—	29,249
その他	47,658	15,562
営業外費用合計	412,889	424,085
経常利益	1,281,723	1,152,214
特別利益		
固定資産売却益	531	9
投資有価証券売却益	2,225	—
新株予約権戻入益	21,900	26,740
特別利益合計	24,656	26,749
特別損失		
固定資産除売却損	17,026	7,566
投資有価証券評価損	5,044	—
関係会社株式評価損	30,634	—
特別損失合計	52,705	7,566
税金等調整前四半期純利益	1,253,674	1,171,397
法人税、住民税及び事業税	380,626	335,443
法人税等調整額	48,736	56,280
法人税等合計	429,362	391,724
少数株主損益調整前四半期純利益	824,311	779,672
少数株主利益又は少数株主損失（△）	△7,276	28,606
四半期純利益	831,588	751,066

(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	824,311	779,672
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	14,157	200,247
為替換算調整勘定	107,801	△36,010
退職給付に係る調整額	—	17,838
持分法適用会社に対する持分相当額	21,555	△1,722
その他の包括利益合計	143,513	180,352
四半期包括利益	967,825	960,025
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	926,879	947,132
少数株主に係る四半期包括利益	40,946	12,892

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	1,253,674	1,171,397
減価償却費	408,315	374,550
新株予約権戻入益	△21,900	△26,740
固定資産除売却損益(△は益)	16,494	7,557
投資有価証券売却及び評価損益(△は益)	2,819	—
関係会社株式評価損	30,634	—
貸倒引当金の増減額(△は減少)	5,738	△9,283
退職給付引当金の増減額(△は減少)	29,767	—
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	—	△24,601
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	7,150	△43,666
返品調整引当金の増減額(△は減少)	△4,400	△5,400
受取利息及び受取配当金	△25,647	△50,680
支払利息	659	547
為替差損益(△は益)	18,064	△7,556
持分法による投資損益(△は益)	△175,325	29,249
売上債権の増減額(△は増加)	△1,792,074	△1,866,307
たな卸資産の増減額(△は増加)	△390,158	△549,040
仕入債務の増減額(△は減少)	569,319	350,475
その他	△188,090	473,474
小計	△254,958	△176,024
利息及び配当金の受取額	77,761	61,299
利息の支払額	△659	△547
災害損失の支払額	—	△28,000
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△348,805	3,178
営業活動によるキャッシュ・フロー	△526,661	△140,094
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の払戻による収入	212,930	—
有形固定資産の取得による支出	△568,692	△238,099
有形固定資産の売却による収入	2,408	729
投資有価証券の取得による支出	△6,127	△4,024
投資有価証券の売却による収入	5,500	—
子会社株式の取得による支出	△36,206	—
その他	△59,243	△10,342
投資活動によるキャッシュ・フロー	△449,431	△251,736
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	18,960	—
自己株式の取得による支出	△316	△245
配当金の支払額	△238,903	△240,378
少数株主からの払込みによる収入	47,267	—
少数株主への配当金の支払額	△23,219	△48,025
その他	△18,221	△39,081
財務活動によるキャッシュ・フロー	△214,433	△327,731
現金及び現金同等物に係る換算差額	43,846	△11,506
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△1,146,679	△731,068
現金及び現金同等物の期首残高	4,469,120	6,727,806
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	25,790	31,471
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,348,231	6,028,209

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

セグメント情報

I 前第2四半期連結累計期間（自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント		合計
	防虫・衛生関連事業	家庭環境関連事業	
売上高			
外部顧客への売上高	8,010,838	13,949,893	21,960,731
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—
計	8,010,838	13,949,893	21,960,731
セグメント利益	701,770	646,714	1,348,485

(注) セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

II 当第2四半期連結累計期間（自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント		合計
	防虫・衛生関連事業	家庭環境関連事業	
売上高			
外部顧客への売上高	8,724,306	14,257,238	22,981,545
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—
計	8,724,306	14,257,238	22,981,545
セグメント利益	968,430	382,346	1,350,777

(注) セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

(退職給付に関する会計基準等の適用)

「会計方針の変更」に記載のとおり、第1四半期連結会計期間より退職給付債務及び勤務費用の計算方法を  
変更したことに伴い、事業セグメントの退職給付債務及び勤務費用の計算方法を同様に変更いたしました。

なお、当該変更による各報告セグメント利益に及ぼす影響は軽微であります。